



第1回DEI推進フォーラム  
「東北大学が目指すDEIとはー サポートする現場から」

2024年2月28日(水) 13時-15時

# 東北大学における 障害のある学生への支援の 実際

学生相談・特別支援センター  
特別支援室 相談員  
高橋 真理

東北大学高度教養教育・学生支援機構  
Institute for Excellence in Higher Education, Tohoku University



## 本日の内容

1. 障害学生支援に関する社会的動向および本学の支援体制
2. 障害のある学生からの相談例
3. 支援の実際と課題

東北大学高度教養教育・学生支援機構  
Institute for Excellence in Higher Education, Tohoku University



# 1. 障害学生支援に関する社会的動向 および本学の支援体制

## 高等教育機関における障害学生数の推移



図 日本学生支援機構（2023） 障害のある学生の修学支援に関する実態調査  
[https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei\\_shogai\\_syugaku/2022.html](https://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_shogai_syugaku/2022.html)



## 基本的な考え方：「改正障害者差別解消法」

改正障害者差別解消法（令和3年5月改正 令和6年4月施行）

### 不当な差別的取り扱いの禁止

- ・ 国・地方公共団体等（国公立大学）
- ・ 民間事業者（私立大学）

義務

例) 「障害のある方の入学や入室は認めません。」（→禁止）  
 「盲導犬の帯同しての入学は認めません。」（→禁止）

### 合理的配慮不提供の禁止

- ・ 国・地方公共団体等（国公立大学）
- ・ 民間事業者（私立大学）

義務

東北大学高度教養教育・学生支援機構  
 Institute for Excellence in Higher Education, Tohoku University



## 合理的配慮とは？

例) 運動機能に障害

授業の教室に行くには  
階段を使わないといけない・・・

階段＝**社会的障壁**  
 （階段ではあがれない）



**合理的配慮**＝例) 「教室変更」等



教室（3階）



教室（1階）

#### 合理的配慮 (reasonable accommodation)

障害者が他の者と平等にすべての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための**必要かつ適当な変更及び調整**であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ均衡を失した又は過度の負担を課さないものをいう。（障害者権利条約 第二条 定義）

障害のある学生が他の学生と  
 平等な学びのフィールドに立  
 つために必要なこと

必要かつ適当な配慮を検討す  
 る上で、対話が重要となる

## 特別支援室の業務内容

### 個別相談

障害や疾患を理由に生じる修学・学生生活・進路上の困り事に対し、必要な支援が得られるよう学内外の支援リソースにつなぐ、助言。

### コンサルテーション

家族や教職員への相談。

### 学生サポーターの養成・派遣

修学支援（情報保障など）を担う学生サポーターの養成・派遣。

### その他

学内バリアフリー化への提案等の実施。

**障害のある学生および関係者への支援を行う全学的拠点。**

視覚／聴覚／肢体不自由／病弱・  
虚弱／精神／発達障害等



## 特別支援室における来談者数の推移

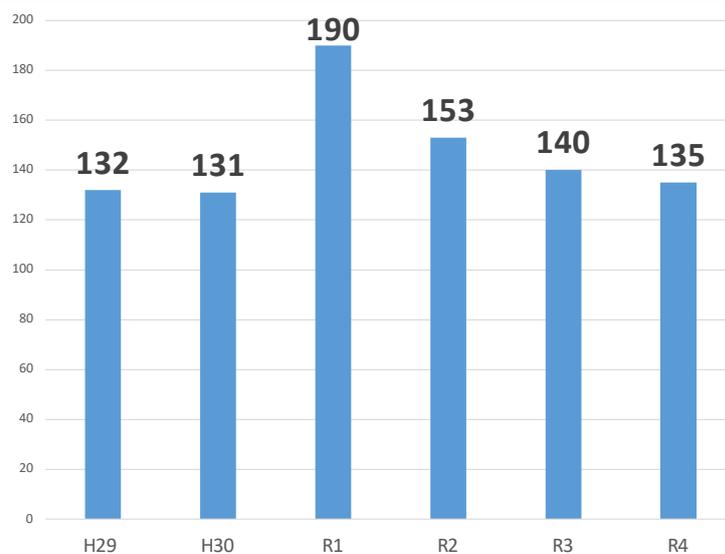


図 来談者数の推移 (人)

## 2. 障害のある学生からの相談例

### 学生が直面する困りごとの例

- 情報取得・整理ができない...
  - 授業履修や授業に関する情報を取得できない。
  - スケジュール管理ができない。  
(提出締め切りを間違える、忘れる)
  - 一人で時間割作成や履修登録ができない。

発達障害



## 学生が直面する困りごとの例

### ● 音声情報の取得等ができない...

- ・ 教員や周囲の学生の発言内容、映像音声を聞きとることができない。

聴覚障害

発達障害

### ● 視覚情報の取得等ができない...

- ・ 教科書、プリント等を読むことができない。
- ・ 筆記による課題作成に時間がかかる。

視覚障害

発達障害

## 学生が直面する困りごとの例

### ● 授業参加や課題をこなすことができない...

- ・ 自分の考えを整理することができない。
- ・ 自由度の高いレポートを書くことが苦手。
- ・ 計画的に課題をこなすことができない。
- ・ どの課題から手をついたら良いかわからない。
- ・ グループディスカッションや人前での発表ができない。
- ・ 不安感・焦燥感があり、授業に集中できない。



発達障害

精神障害

### ● その他

- 既存の机や椅子が利用できない。
- 教室間の移動に時間がかかる。
- 運動制限やアレルギー等により、  
実技や実験に参加できない。
- 頻繁にトイレに行きたくなる。
- 定期通院のため授業を休まざるを得ない。

肢体不自由

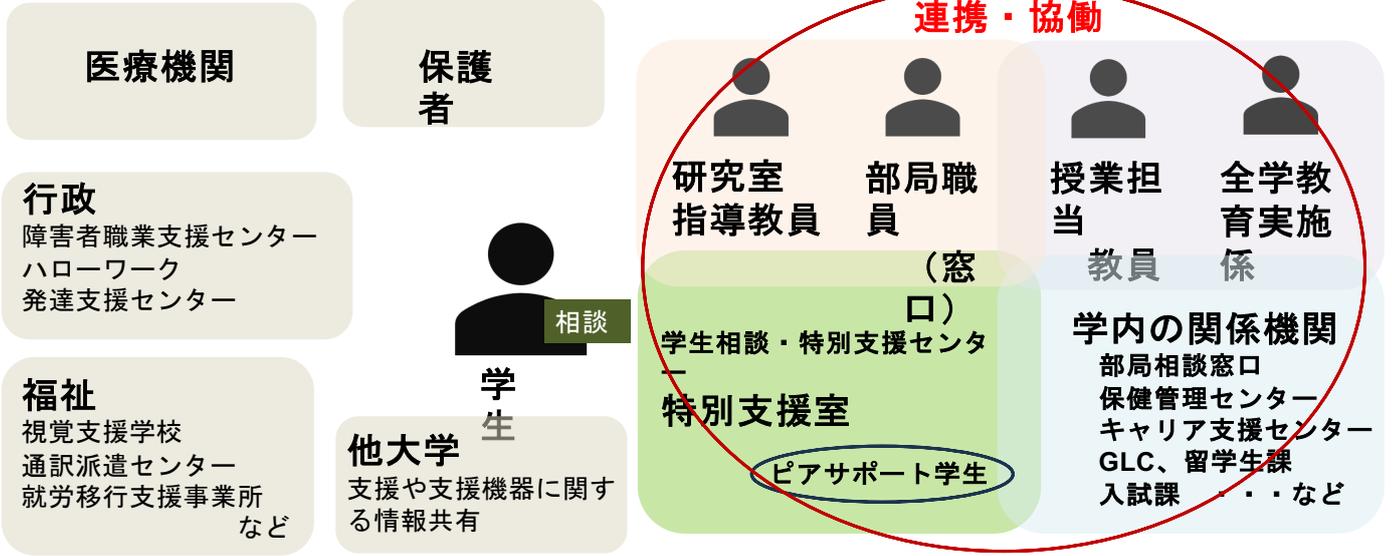
病弱・虚弱

※ すべての障害種  
が該当

## 3. 支援の実際と課題



# 学内外における支援体制



# ピアサポート学生（学生サポーター）

- ・ 修学上の支援は多くの人手が必要となり、学生の協力なしでは成り立たない。



聴覚障害学生への情報保障



視覚障害や肢体不自由学生へのテキストの電子データ化作業



学内のアクセシビリティ調査





## 支援をとおして見える課題

- ・ 年々、幅広いニーズへの対応が求められる。
- ・ 障害学生、障害支援担当部署だけでは支援体制は構築できない。
- ・ すべての部署、すべての構成員が共通の課題意識をもち、連携して支援していくことが必要である。
- ・ 「多様性」という言葉を再考する。
  - ・ ・ ・ 障害に限らずさまざまな個性・文化の視点をもつこと。  
【年齢、性別、国籍、人種、民族など】

